

「健康食品」の問題点と課題

< 健康食品の問題点 >

1 健康被害の発生

【現 状】

- (1) 食経験のある素材であるにもかかわらず、加工方法や含有量などにより、健康被害に結びつく場合があり、危害性のある製品の予測が難しい。

例) クロレラの加工食品

アマメシバ加工食品

D - ソルビトール (甘味料) が過量に含まれたダイエット飲料

- (2) 「健康食品」が原因となる健康被害は、初期段階で因果関係を特定することが難しく、重篤な症状が現れるまで探知されない場合がある。
- (3) 「健康食品」の名を語った無承認無許可医薬品が後を絶たない。
- (4) 危害性が未知の製品が、購入者がリスクを自覚しないまま個人輸入により安易に入手されている。
- (5) 「健康食品」を医薬品の代替品的に使用することにより、適正な医療を受ける機会を逸し疾病の長期化や重篤化を招くおそれがある。

2 科学的視点からみて不確かな情報の氾濫と、適切な情報の不足

【現 状】

- (1) 薬事法、健康増進法等に抵触するおそれのある広告が氾濫している。
- (2) 保健機能食品制度の主旨を誤解させる表示・広告が存在している。
- (3) 科学的正確性に乏しく、有効性に偏った情報が発信されている。

例) テレビ・雑誌等の記事、書籍、インターネット情報

- (4) 利用者が「健康食品」の必要性を判断したり、適切な使用を行うための、正確で利用しやす

い情報が不足している。

3 「健康食品」の安全性・有効性に対する利用者側の認識不足

【現 状】

- (1) 「健康食品」を医薬品的なものと誤認したり、健康機能に過大な期待をしている傾向がある。
- (2) 「健康食品」の安全性が過信される傾向がある(薬よりも安全)。
- (3) 「健康食品」に対する判断に、科学的な視点が欠如している。

< 課題 >

1 健康被害の未然防止と拡大防止

- (1) 過去に発生した「健康食品」による被害(中国製ダイエット用健康食品、アマメシバ、D-ソルビトール、グリベンクラミド等)の整理と分析
- (2) 「健康食品」による健康被害情報のより確実な把握

2 不適切な広告・表示の氾濫への対応

- (1) 誤解を生じさせやすい広告・表示等の明確化と現状の改善
 - ア 法令に違反する広告・表示
 - イ 「保健機能食品制度」の主旨を誤解させる表示・広告

3 不適切な情報への対応

誤解を生じさせやすい「情報」の明確化と現状の改善

4 「健康食品」に関する適切な情報を提供できるチャンネルの構築

- (1) 「健康食品」に関する適切な情報が十分伝わらない原因の究明と現状の改善
- (2) 「健康食品」問題における医療関係者の役割の構築

5 「健康食品」に関するリスクコミュニケーション

- (1) 「健康食品」の制度の周知
- (2) 「健康食品」の安全性の考え方の整理
- (3) 「健康食品」の有効性の考え方の整理
- (4) 「健康食品」の必要性の考え方の整理
 - ア 栄養成分を主とする「健康食品」
 - イ 特定保健用食品
 - ウ その他、有用とされる成分やハーブ類など